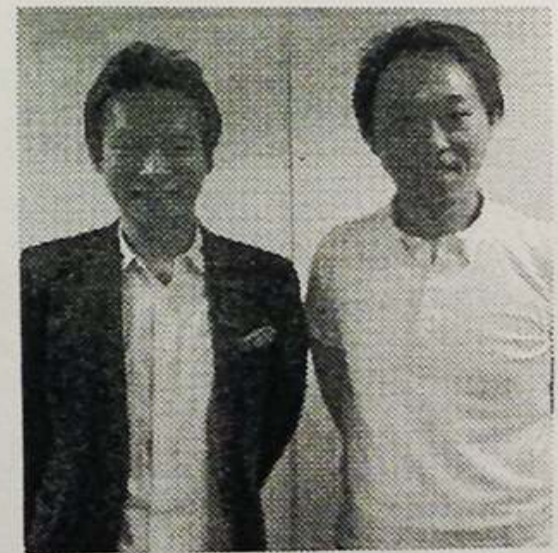


回想法を取り入れた音楽療法

リーフ音楽療法センター

講座なども開催



▲左 代表取締役 藤井洋平氏
右 取締役 営業・財務担当 宮地太基氏

リーフ音楽療法センター(東京都新宿区)は、60歳以上の介護事業所などで音楽療法を行っている。同社では行う音楽療法を「セッション」と呼んでおり、事業所の利用者と共に歌を歌い、トーンチャイムなどを使った楽器演奏を行う事を通して、参加者全員が一体となる空間を演出しているのが特徴だ。

セッションでは音だけでなく、写真や絵を使う回想法も取り入れている。曲の時代に合わせた写真を用意し、当時の思い出として考えてやっ

ながら音楽を楽しんでもらう。同社から派遣される音楽療法士は利用者になる音楽療法士は利用者になる音楽療法士が所属し、それが演奏できる楽器や経歴を活かしたアプローチを行い特色を出している。4ヶ月の短期集中で、夜間帯に行っている。仕事で時間を開けるのが難しい人にも人気だ。

今後は、首都圏を中心に音楽の楽しさを伝える輪を広げていく。



▲セッションの様子

「この場所にはどんな思い出がありましたか」「この年は何を覚えていたか」と語りかけ、思い出を語ってもらうよう心がけている。そのため、セッション前には事業所の職員と利用者の性格や体調などについて綿密なヒアリングを行う。藤井代表が必ず初回にトライアールセッションを行って、そこから事業所にあった療法士を派遣し

共用スペースを

装飾の